

東京藝術大学と東御市と地域による域学連携事業

# 天空の芸術祭 2021

# 崩壊の時代から創生へ

10月9日(土)～11月7日(日) 長野県東御市北御牧地区と海野宿

期間中の金土日祝 10:00～16:00

主催 天空の芸術祭 2021 実行委員会

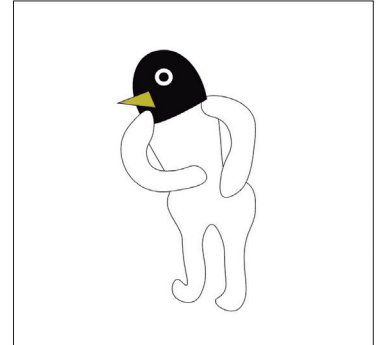
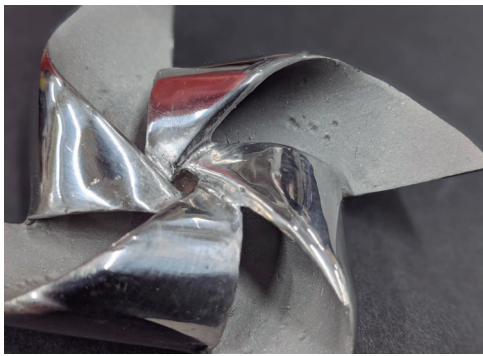
問合せ 天空の芸術祭 2021 事務局 0268 67 1010(代) [tenkuartfes@gmail.com](mailto:tenkuartfes@gmail.com)

〒389-0406 長野県東御市大日向337 東御市北御牧庁舎内

ご来場の際は感染拡大防止にご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。







左上から、江田委織〈郷愁へのいざない〉2021、寺内木香〈海野宿半鐘 竜頭部分 蠟原型〉2021、柴田早穂〈見えている世界はほんの少しだけ〉2018 photo ayaconakamura、齊藤隆嗣〈A running cutie and walking scammers.〉2020、シャーミン・スマイヤ〈Rooted〉2020、ミミコ〈PEEK〉2021、保科豊巳〈そこはここ、ここはそこシリーズ「雨の音を聞く家」〉2018、鐘亮〈隙間の光〉2021

さまざまな限界を超えてしまった今。人間の過度な成長の結果が現れてきていると思えます。生命の価値、行動規制、閉塞感。この状況の中で芸術ができることは何なのでしょう。私たちはもう一度原点に帰って芸術の力を再発見する試みを考えていきたいと思っています。

地域の芸術祭も大規模なものから、小規模であまり人々が集中しないで開催できるものへと変換を余儀なくされています。これからはこのスタイルが定着していきそうです。

天空の芸術祭は、去年は開催されませんでした。が、本年は参加作家数も絞って開催します。本芸術祭は、今までも多くの地域の皆

様の支援や協力のもとに実施されてきました。地域と共に開催され、地域の文化の創生へとつながることが期待でき、現在の崩壊の時代から次への展開へと繋がる可能性を秘めています。時代にあった芸術祭です。

私は今回、保科豊巳氏（美術家/東京藝術大学名誉教授）の後にアートディレクターを努めさせていただきます。この異常な状況の中で、毅然として脈々と息づいている海野宿に触れ、ここでの展開で何か試みたいという衝動にかられました。小さな表現から今後に広がる持続的な可能性を信じて展開していきたいと考えています。ご高覧頂けましたら幸いです。

赤沼潔（東京藝術大学美術学部工芸科鑄金 教授）



参加アーティスト

**海野宿エリア:** 赤沼 潔、伊藤 日向子、江田 委織、コスタ・ロペス・デ・アルメイダ・フェルナンダ、柴田 早穂、寺内 木香、福井 夕音、山西 もも

**北御牧エリア:** 大橋 文男、齊藤 隆嗣、シャーミン・スマイヤ、園田 将久、西村 雄輔、保科豊巳、王安好、鐘 亮

アーティストディレクター

赤沼潔（東京藝術大学美術学部工芸科鑄金教授）

西村雄輔（東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻准教授）

JR北陸新幹線上田駅下車 しなの鉄道乗換田中駅下車

海野宿会場: 田中駅、大屋駅より徒歩20分 芸術むら公園会場: 田中駅より車で12分

北御牧庁舎会場: 田中駅、滋野駅より車で7分 天空ミュージアム会場: 田中駅より車で12分